

**保健婦・看護婦の職場のメンタルヘルスでの
かかわりについて**

平成14年3月

**労働福祉事業団
大阪産業保健推進センター**

研究員名簿

主任研究者

大阪産業保健推進センター所 長

植 松 治 雄

協同研究者

大阪産業保健推進センター相談員

上 田 美代子

大阪産業保健推進センター相談員

藤 井 久 和

大阪産業保健推進センター相談員

千 葉 征 慶

大阪産業保健推進センター相談員

岡 田 治 子

富士銀行大阪健康管理室

大 脇 多美子

目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 対象と方法 | 1 |
| 3. アンケート調査結果 | 2 |
| 1) 回答者について | |
| ①回答者資格 | |
| ②看護の免許以外の資格 | |
| ③産業看護職の経験年数 | |
| ④雇用形態及び雇用機関 | |
| 2) メンタルヘルスに関する体制について | |
| ①体制の有無 | |
| ②対応するスタッフ | |
| ③相談室の有無 | |
| 3) メンタルヘルスに関する相談について | |
| ①相談の有無 | |
| ②初めて相談にきた人 | |
| ③相談の内容について | |
| ④相談を受けた経緯と件数について | |
| ⑤一人の相談時間の平均時間 | |
| ⑥受けた相談の対応 | |
| ⑦メンタルな相談を受けた場合に困ったことの有無とその内容 | |
| 4) 社内でのメンタルヘルス教育について | |
| ①メンタルヘルス教育の担当者 | |
| ②職場内、社員、ライン教育の実施状況 | |
| 5) メンタルヘルスについて学びたい項目について | |
| 6) 体制の有無による活動について | |
| ①対象としている従業員の人数 | |
| ②体制別相談件数の比較 | |
| ③体制別困った内容 | |
| ④体制の有無にみた学びたい項目 | |
| 4. 考察 | 13 |
| 5. アンケート結果集計の詳細 | 14 |
| 6. アンケート調査票 | 23 |

1. 調査の目的

職場における保健婦・看護婦のメンタルヘルスにかかわる実態を把握し、「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」を目指した活動への協力及び今後の事業場及び産業保健スタッフへの支援の方向性を知るとともに、大阪産業保健推進センターとしての支援の指針を得ることである。

2. 対象と方法

当センターを利用する大阪府下の事業場に勤務する保健婦・看護婦 129 名に対し、アンケート調査票（産業看護活動について／メンタルヘルス関連／実態調査）を送付し、85 名の回答を得た（回収率 61.2%）。

3. アンケート調査結果

1) 回答者について

① 回答者資格 (図1)

資格は、保健婦 31名 (36.5%)、看護婦 44名 (51.8%)、准看護婦 2名 (2.4%)であった。

② 看護の免許以外の資格 (図2)

衛生管理者 57名 (67.1%)、心理相談担当者 46名 (54.1%) が主であった。

③ 産業看護職の経験年数 (図3)

10～14年 20名 (23.5%)、6～9年 16名 (18.8%)、3～5年 15名 (17.6%)、20～24年 10名 (11.8%)で他は少数であった。

④ 雇用形態及び雇用機関 (図4、図5)

雇用形態は正社員 54名 (63.5%)、常勤嘱託 21名 (24.7%)であり、雇用機関は一般企業 59名 (69.4%)、単一健保組合 16名 (18.8%)で、他の総合健保、官公庁、労働衛生機関は少数であった。

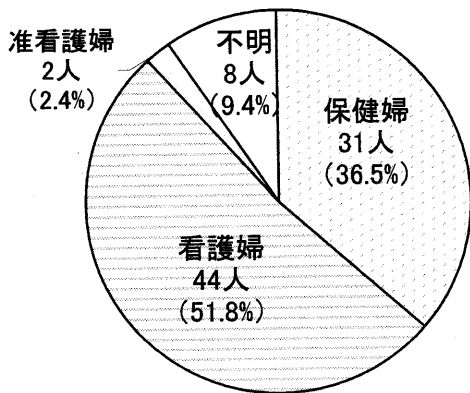


図1. 回答者資格

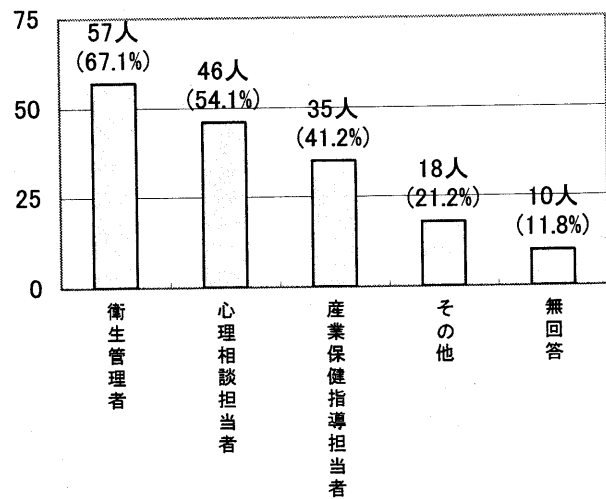


図2. 看護免許以外の資格

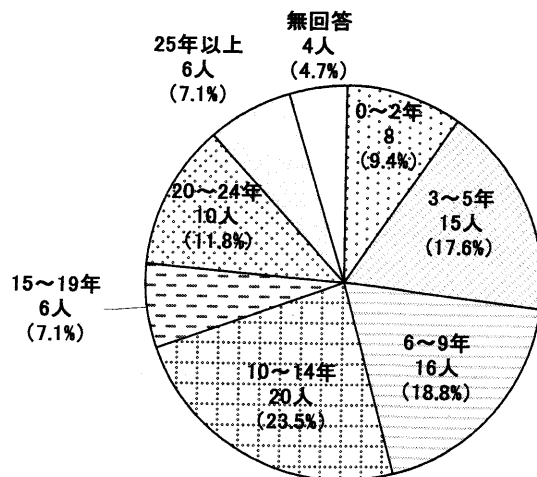


図3. 産業看護職の経験年数

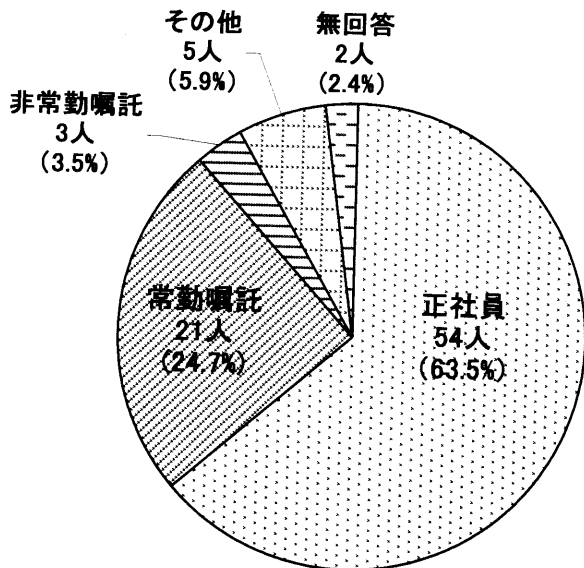


図4.雇用形態

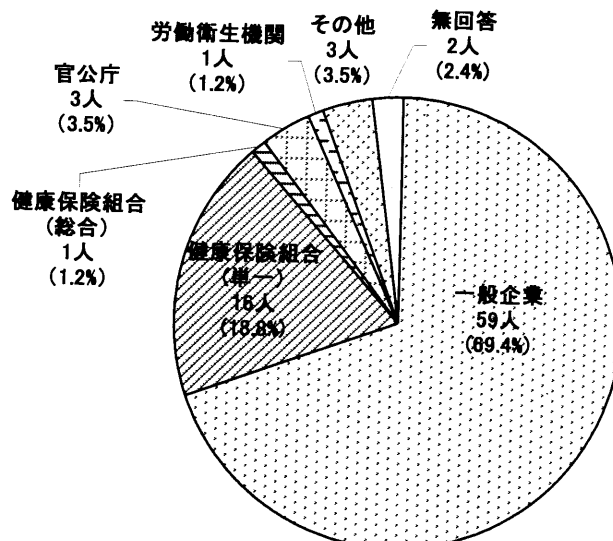


図5.雇用機関

2) メンタルヘルスに関する体制について (問 9.10.11)

① 体制の有無 (図6)

メンタルヘルスケアを行う体制が「ある」と答えたもの 49 名 (57.6%)、「ない」と答えたもの 32 名 (37.6%)、無回答 4 名 (4.7%) であり、体制がある事業場は約半数であった。

② 対応するスタッフ (図7)

産業看護職 65 名 (76.5%)、産業医 60 名 (70.6%) であり、看護職、産業医が 7 割を占めていた。

③ 相談室の有無 (図8)

専用の相談室が備えられているのは 29 名 (34.1%)、他の診療室や会議室などを利用しているのは 39 名 (45.9%)、その他 11 名 (12.9%) であった。

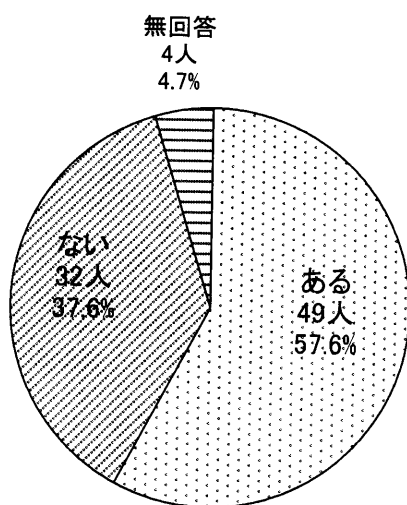


図6.体制の有無

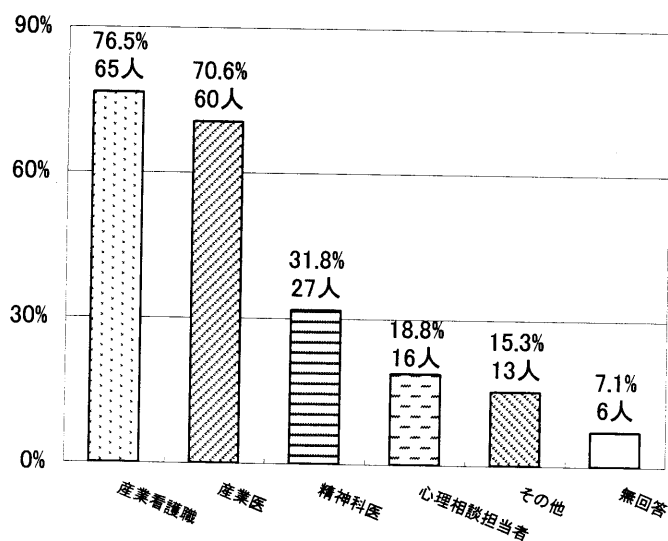


図7.対応するスタッフ

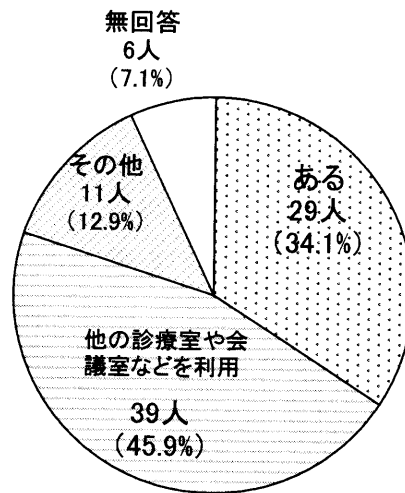


図 8. 相談室の有無

3) メンタルヘルスに関する相談について (問 12. 13. 14. 16. 17. 18. 19. 20. 21)

① 相談の有無 (図 9)

メンタルヘルスに関する相談があったと回答したものの 79 名 (92.9%) であった。

② 初めて相談にきた人 (図 10)

本人 62 名 (78.5%)、上司 53 名 (67.1%)、同僚 15 名 (19.0%)、家族 7 名 (8.9%)、その他 8 名 (10.1%)、無回答 1 名 (1.3%) であった。

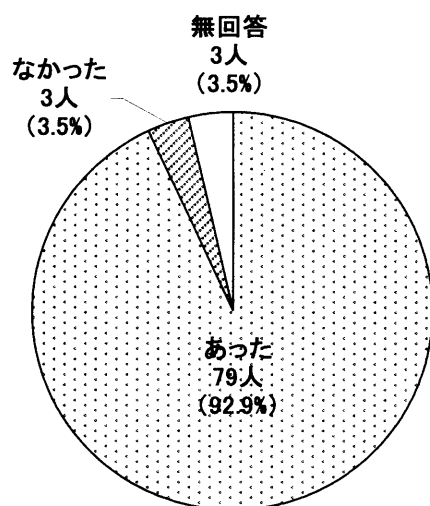


図 9. 相談の有無

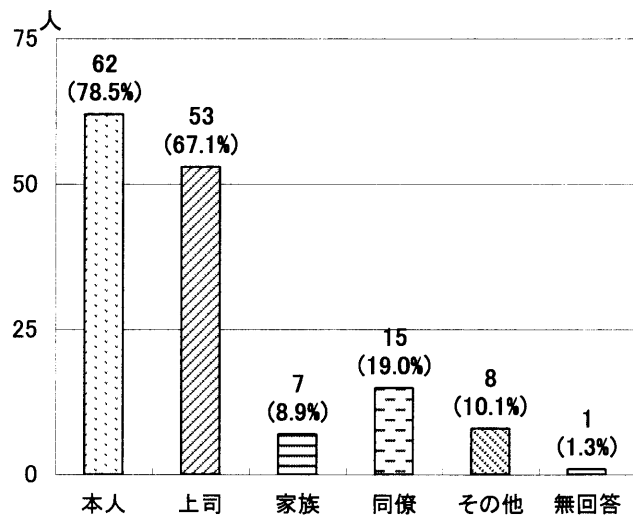


図 10. 初めて相談にきた人

③ 相談の内容について（図11）

受けた相談については、職場にかかわるもの71名(89.9%)で、その内容は人間関係57名(80.3%)、勤務条件23名(32.4%)、勤務態度16名(22.5%)であった。

本人自身にかかわるもの75名(94.9%)で、その内容は職場不適応54名(72.0%)、病気との関連38名(50.7%)であった。

家族にかかわるもの39名(49.4%)で、その内容は夫婦関係20名(51.8%)、親子関係21名(53.8%)であった。

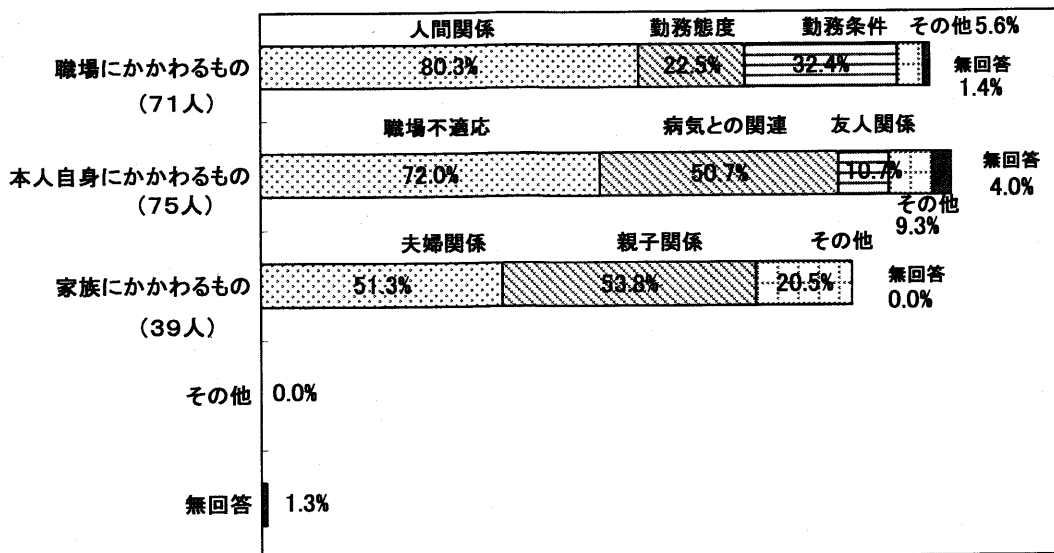


図11. 相談の内容

④ 相談を受けた経緯と件数について

過去1年間の相談を受けた経緯と件数（図12）については、本人から548件、上司からの依頼や相談209件、健康診断の問診から70件などがあり、同僚からの依頼27件、家族からの相談18件、職場巡視から9件であった。

また相談を受ける時期（図13）については、保健指導のとき26名(32.9%)、健康診断のとき・人事異動のときそれぞれ15名(19.0%)、職場巡視のとき9名(11.4%)であった。

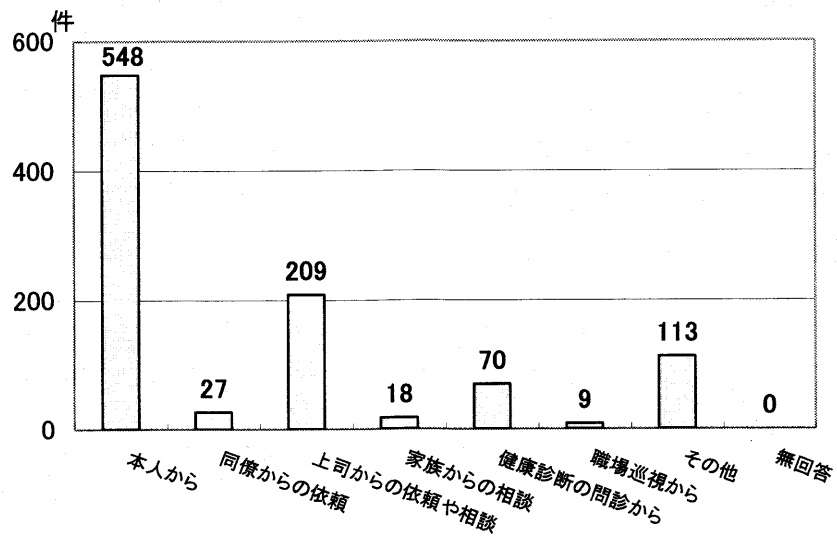


図1 2. 相談を受けた経緯と件数

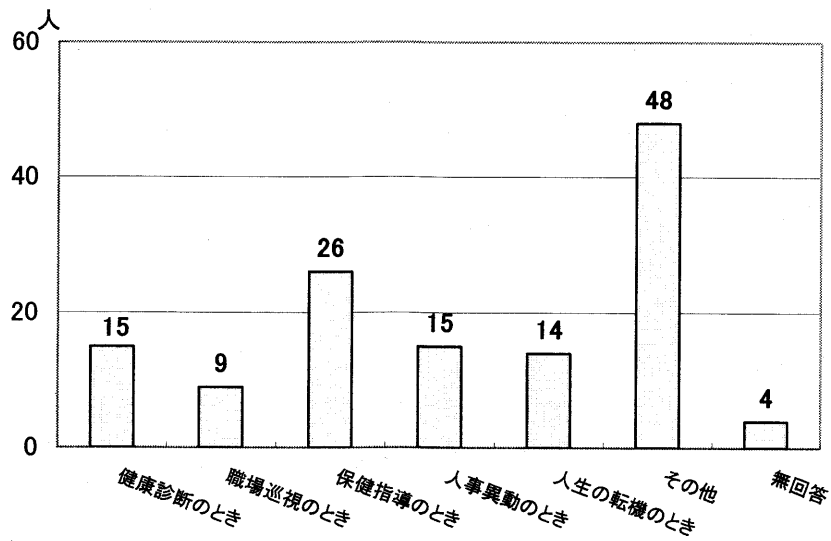


図1 3. 相談を受ける時期

- ⑤ 一人の相談時間の平均時間（図14）
 一人の相談時間の平均時間は約30分41名（51.9%）と半数であった。

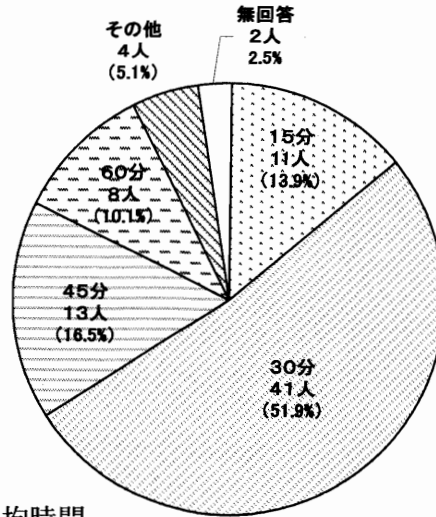


図14. 一人の相談時間の平均時間

- ⑥ 受けた相談の対応（図15）

受けた相談をどのように対応したかについては、本人から話を聞いた71名（89.9%）で一番多く、産業医または非常勤医師（内科）への相談53名（67.1%）、相談者の上司へ相談した37名（46.8%）、外部の専門医を紹介34名（43.0%）であった。なお地域の保健所または産業保健推進センターへの相談は7名（8.9%）であった。

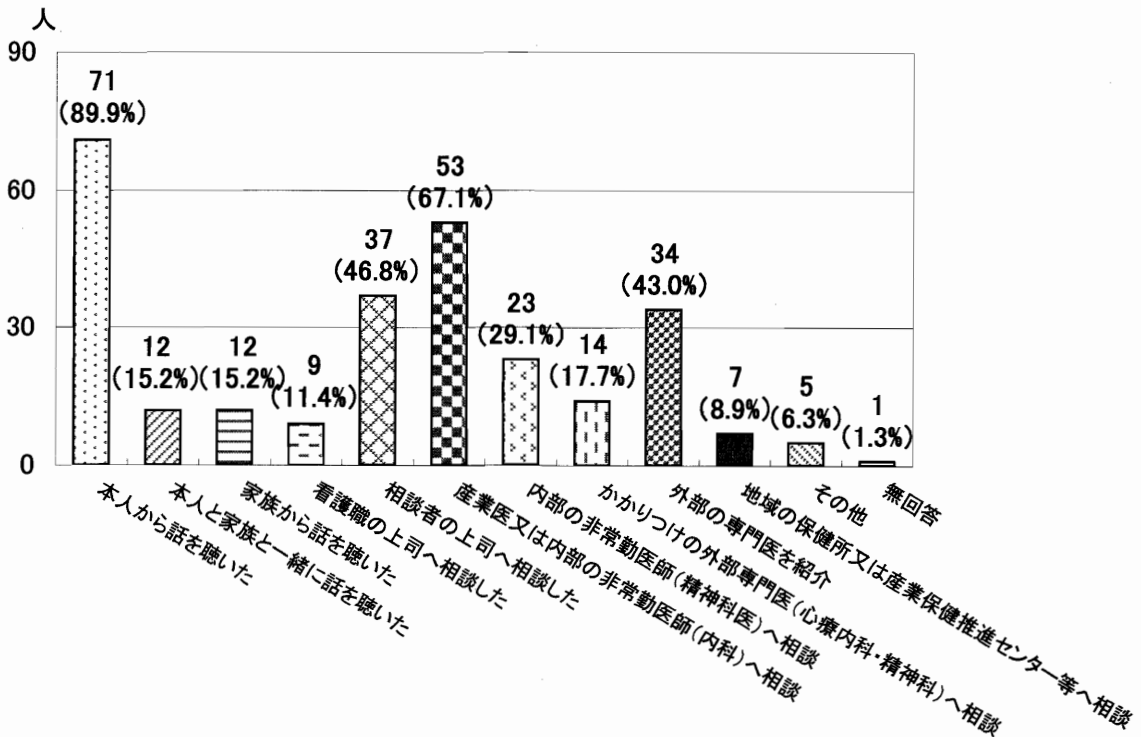


図15. 受けた相談の対応

⑦ メンタルな相談を受けた場合に困ったことの有無とその内容（図16、17）

メンタルな相談を受けた場合に困ることがあったと答えたもの 59 名 (74.7%)、困ったことの内容は、相談者に対して自分の対応の仕方が不十分と感じる (自分の知識不足) 43 名 (72.9%)、連携する医療機関の問題 (心療内科、精神科などの専門医がわからない) 21 名 (35.6%)、相談者の上司の理解不足 20 名 (33.9%)、相談者の上司の理解不足 20 名 (33.9%) であった。

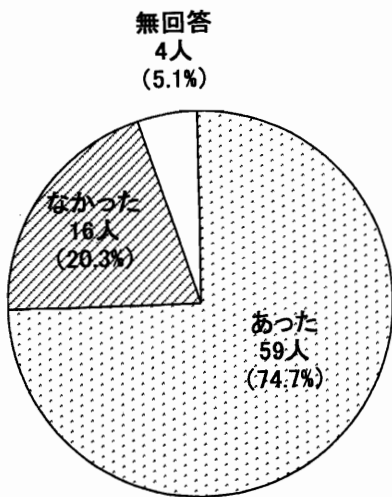


図16. 困ったことの有無

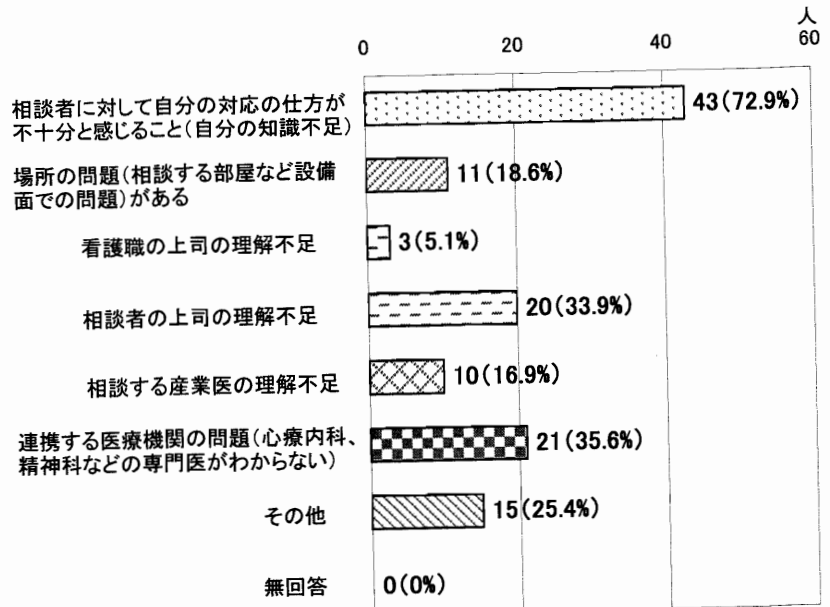


図17. 困ったことの内容

4) 社内でのメンタルヘルス教育について (問 22.23)

① メンタルヘルス教育の担当者 (図18)

産業医 39 名 (45.9%)、産業看護職 34 名 (40.0%)、社外講師 (医療職) 依頼 26 名 (30.6%) であった。

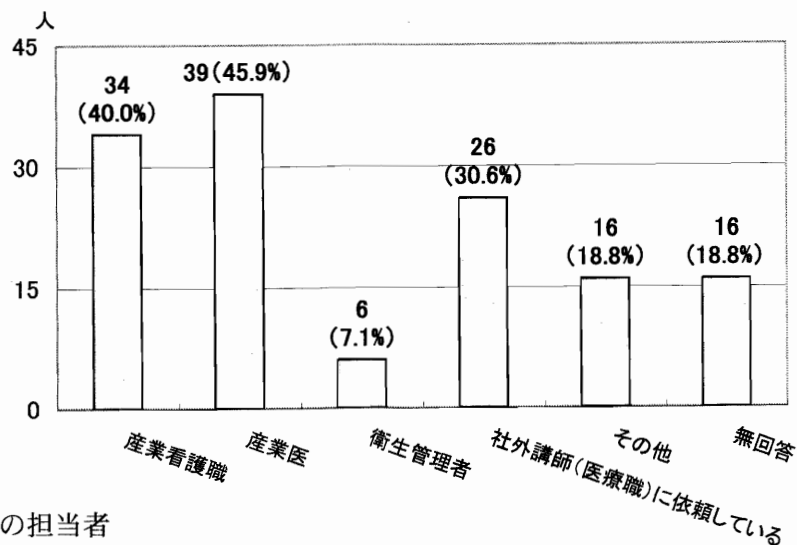


図18. 教育の担当者

② 職場内、社員、ライン教育の実施状況（図19）

職場内の教育について、「定期的に行っている」9名(10.6%)、「不定期に行っている」27名(31.8%)であり、「行っていない」は37名(43.5%)であった。

課長や部長などへのライン教育について、「出来ている」28名(32.9%)、「出来ていない」45名(52.9%)であった。

従業員(社員)への教育について、「出来ている」15名(17.6%)、「出来ていない」54名(63.5%)であった。

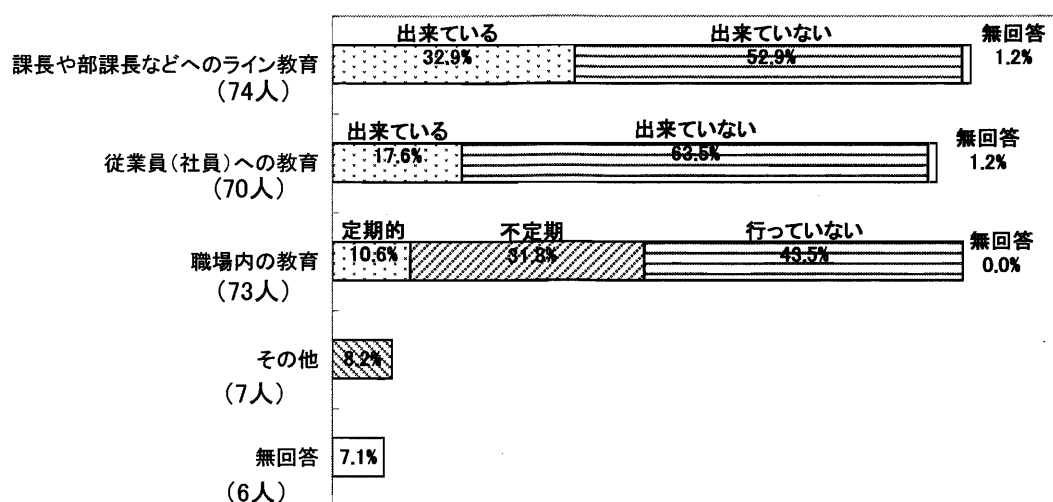


図19. 教育の実施状況

5) メンタルヘルスについて学びたい項目について (問24)

図20は10項目の中から3項目を選出依頼したところ、カウンセリングの技法48名(56.5%)、従業員への教育方法33名(38.8%)、管理監督者への教育方法28名(32.9%)、面接の記録と保管方法やメンタルヘルス教育20名(23.5%)、事例検討24名(28.2%)、社会資源の活用方法17名(20.0%)、ストレスコーピングの方法6名(7.1%)などであった。

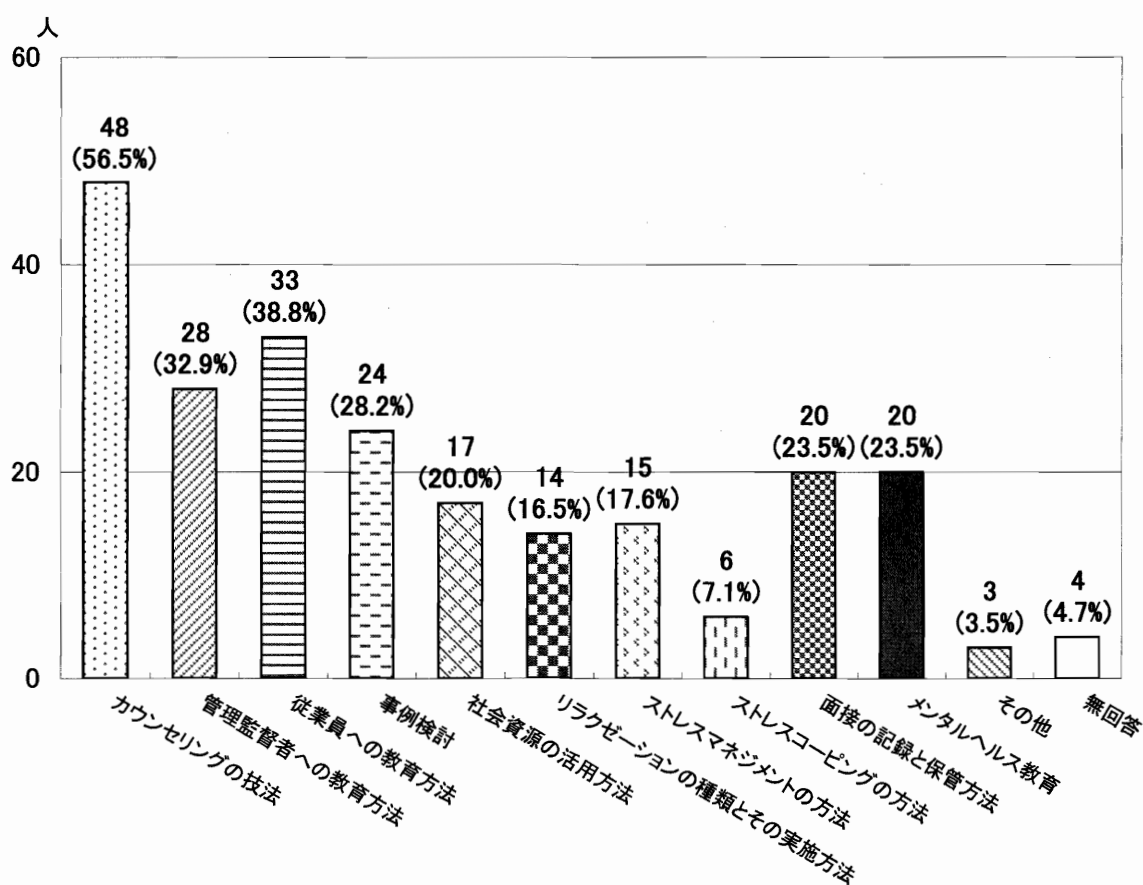


図20. メンタルヘルスについて学びたい項目

6) 体制の有無による活動について

① 対象としている従業員の人数

対象としている従業員を体制の有無で比較すると、1000人以下では「体制なし」20名(62.5%)、1001人以上では「体制あり」22名(44.9%)と多かった。

| | 体制あり | 体制なし |
|---------|------------|------------|
| 1000 以下 | 27 (55.1%) | 20 (62.5%) |
| 1001 以上 | 22 (44.9%) | 9 (28.1%) |

体制あり：n=49

体制なし：n=32

② 体制別相談件数の比較 (図 2 1)

過去1年間の相談件数を比較すると「体制あり」839件、「体制なし」149件と体制ありが体制なしより約6倍多かった。

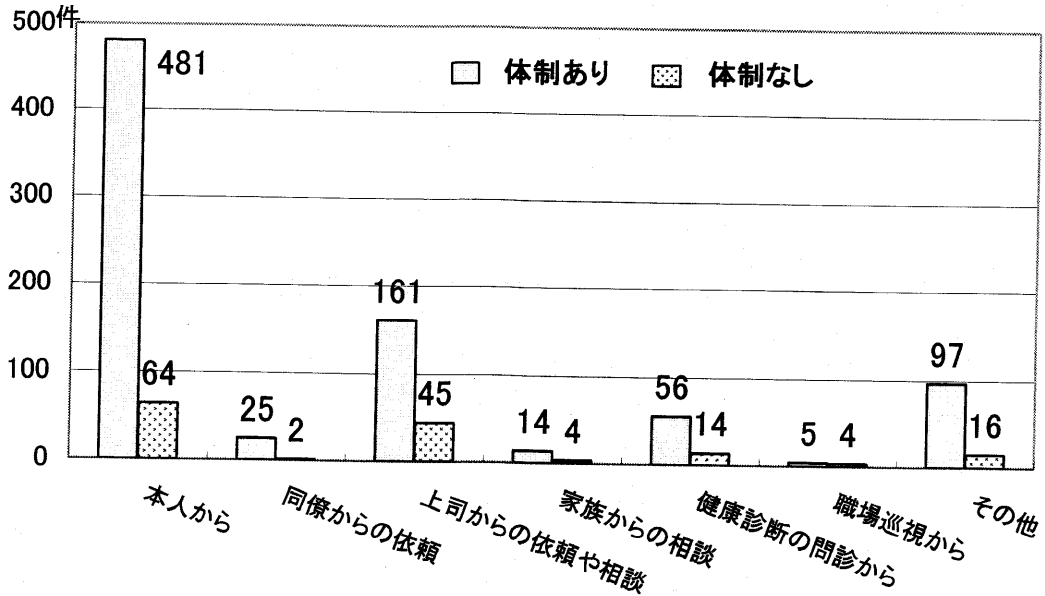


図 2 1. 体制別相談件数の比較

③ 体制別困った内容 (図 2 2)

体制の有無に関わらず相談を受けて困ったことは、知識不足と感じているものが約半数であり、「体制なし」では、場所の問題、連携する医療機関の問題、産業医の理解不足が多く示された。

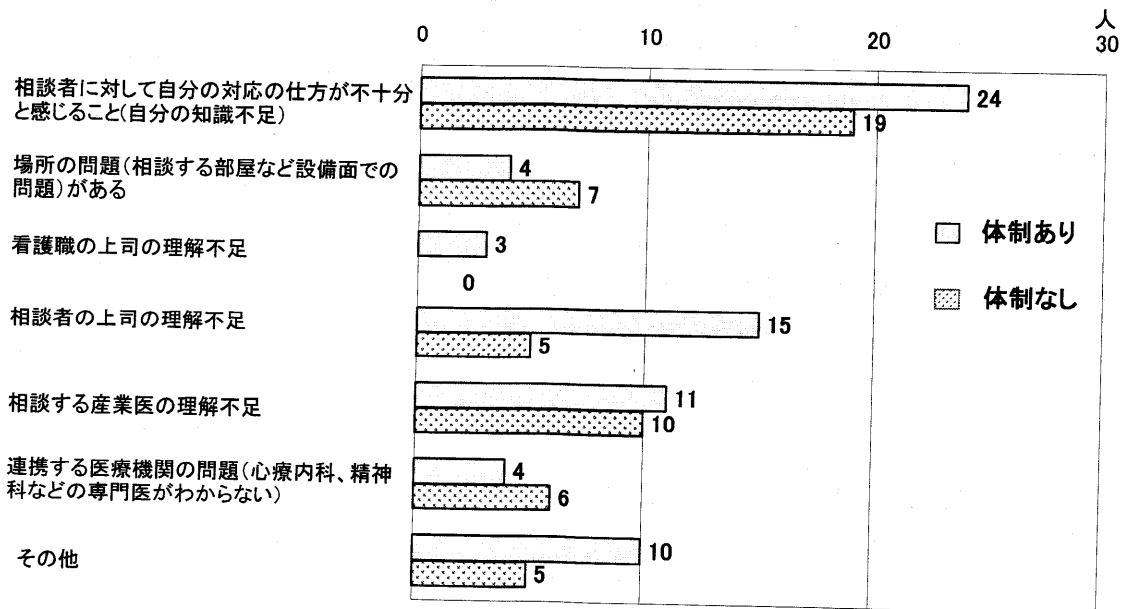


図 2 2. 体制別困った内容

④ 体制の有無別にみた学びたい項目 (図23)

メンタルヘルスについて学びたい項目では体制の有無に関わらず、ほぼ同じ項目であった。特に、カウンセリングの技法については48名(56.5%)、従業員への教育方法33名(38.8%)、管理監督者への教育方法28名(32.9%)であった。

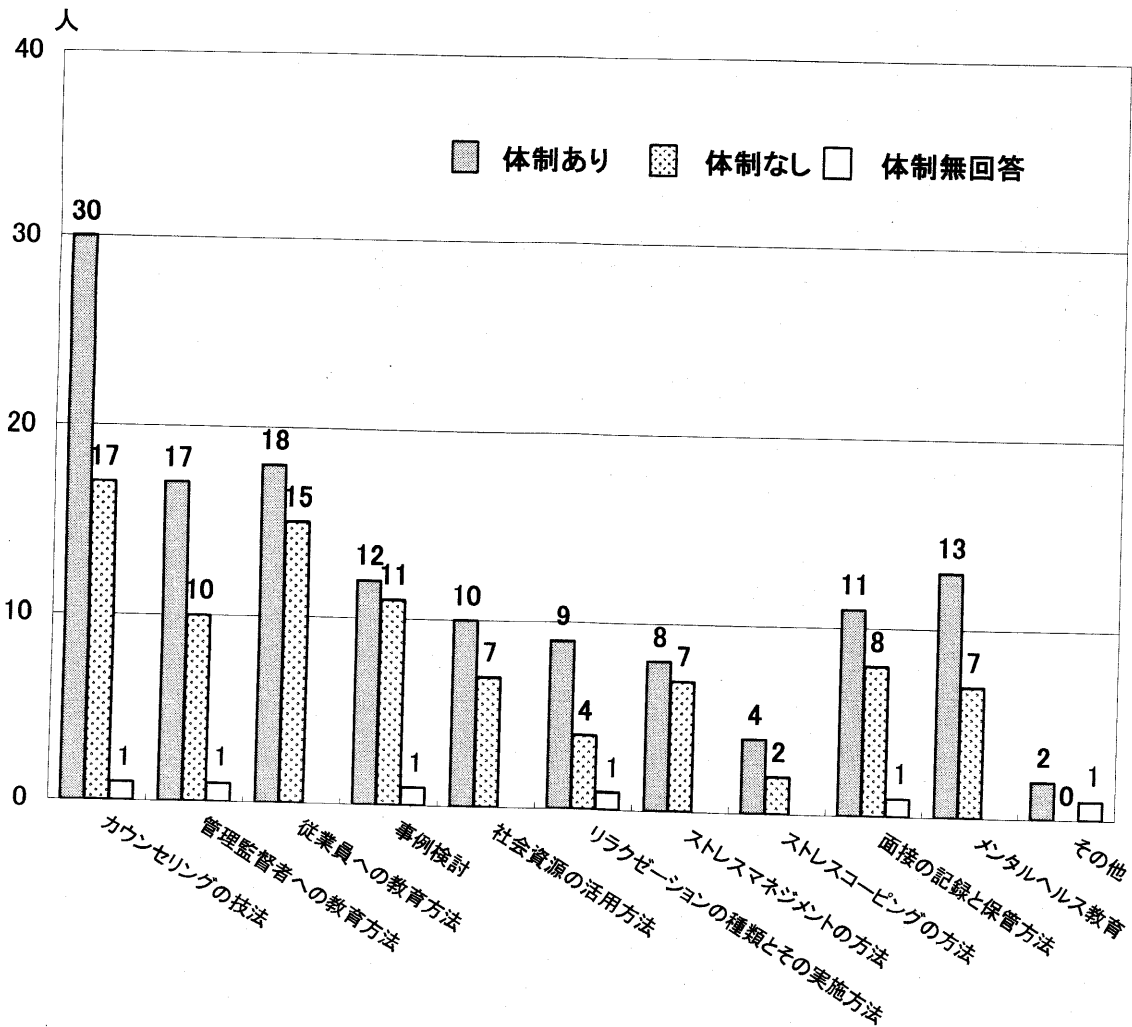


図23. 体制の有無別にみた学びたい項目

4. 考察

今回の調査結果では、メンタルヘルスに対応するスタッフは約7割が保健婦・看護婦（産業看護職）であった。「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」では、計画の中に体制の整備に関することを定めることが求められている。相談件数においても体制ありと回答したものが、体制なしと回答したものより約6倍となっていることから、メンタルヘルスケアに対応するための体制を整備する必要がある。

初めて相談にきたのは本人・上司が多く、その内訳は職場にかかわるものうち人間関係が最も多く、また相談を受ける時期は保健指導のときが最も多く、健康診断の事後措置としての保健指導の場を十分に持つことの必要性が考えられる。

受けた相談の対応については、本人から話を聞いたものが9割あるが、相談に対して自分の対応の仕方が不十分と感じているものが7割と多く、カウンセリングの技法を6割のものが学びたいと希望しており、当センターとしてこれらの実態に応えるために、カウンセリングの技法の研修が必要である。

社内でのメンタルヘルス教育について、ラインの教育が出来ていないのは5割、従業員への教育が出来ていないのは6割あり、ラインの教育及び従業員への教育が行われているのは3割と僅かであった。しかも上司の理解不足で困ったと回答したものが約3割いる。ラインの教育及び従業員への教育方法を希望するものがそれぞれ3割あり、これらの教育方法についての研修を行う必要がある。

また、連携する医療機関の問題と回答したものが4割あることから、医療機関の情報提供が望まれる。

5. アンケート結果集計の詳細

産業看護活動について（メンタルヘルス関連／実態調査）

大阪産業保健推進センター

次の質問のうち当てはまる番号に○印を付けてください。また該当事項をご記入ください。

I. 貴方の資格・雇用形態についてお尋ねします

問 1. 貴方の年齢は (_____ 才代)

| | 件数 | % |
|--------|----|------|
| 1. 20代 | 7 | 8.2 |
| 2. 30代 | 29 | 34.1 |
| 3. 40代 | 22 | 25.9 |
| 4. 50代 | 24 | 28.2 |
| 5. 60代 | 1 | 1.2 |
| 無回答 | 2 | 2.4 |
| 合計 | 85 | |

問 2. 産業看護職としての経験は (_____ 年)

| | | |
|-------|----|------|
| 0-2 | 8 | 9.4 |
| 3-5 | 15 | 17.6 |
| 6-9 | 16 | 18.8 |
| 10-14 | 20 | 23.5 |
| 15-19 | 6 | 7.1 |
| 20-24 | 10 | 11.8 |
| 25以上 | 6 | 7.1 |
| 無回答 | 4 | 4.7 |
| 合計 | 85 | |

問 3. 勤務している看護の資格は

| | | |
|---------|----|------|
| 1. 保健婦 | 31 | 36.5 |
| 2. 看護婦 | 44 | 51.8 |
| 3. 准看護婦 | 2 | 2.4 |
| 不明 | 8 | 9.4 |
| 合計 | 85 | |

問 4. 看護免許以外で持っている資格は（複数回答可）

| | | |
|------------------|----|------|
| 1. 衛生管理者 | 57 | 67.1 |
| 2. 心理相談担当者 | 46 | 54.1 |
| 3. 産業保健指導担当者 | 35 | 41.2 |
| 4. その他 (_____) | 18 | 21.2 |
| 無回答 | 10 | 11.8 |
| 合計 | 85 | |

その他の内容

労働衛生コンサルタント
 養護教諭1級
 訪問看護
 保健婦
 認定心理士
 助産婦
 産業カウンセラー

社会福祉士
 産業看護師
 交流分析士
 看護教育養成講習(6ヶ月)受講
 介護支援専門員
 ケアマネージャー
 作業環境測定士

問 5. 貴方の雇用形態は

| | | |
|----------|----|------|
| 1. 正社員 | 54 | 63.5 |
| 2. 常勤嘱託 | 21 | 24.7 |
| 3. 非常勤嘱託 | 3 | 3.5 |
| 4. その他 | 5 | 5.9 |
| 無回答 | 2 | 2.4 |
| 合計 | 85 | |

問 6. 貴方はどこで雇用されていますか

| | | |
|---------------|----|------|
| 1. 一般企業 | 59 | 69.4 |
| 2. 健康保険組合（単一） | 16 | 18.8 |
| 3. 健康保険組合（総合） | 1 | 1.2 |
| 4. 官公庁 | 3 | 3.5 |
| 5. 労働衛生機関 | 1 | 1.2 |
| 6. その他（ ） | 3 | 3.5 |
| 無回答 | 2 | 2.4 |
| 合計 | 85 | |

その他の内容

病院

医療機関

問 7. 貴方の所属は（貴方がデスクワークを行うところ）どこですか

| | | |
|-------------------|----|------|
| 1. 健康管理センター | 9 | 10.6 |
| 2. 健康管理（相談）・保健指導室 | 26 | 30.6 |
| 3. 診療所・医務室 | 23 | 27.1 |
| 4. 総務部（課）・人事部（課） | 12 | 14.1 |
| 5. 病院所属（併設）健康管理部門 | 3 | 3.5 |
| 6. その他 | 10 | 11.8 |
| 無回答 | 2 | 2.4 |
| 合計 | 85 | |

問 8. 貴方が対象としている人数は何人ですか

| | | |
|------------------|----|------|
| 1. 100人未満 | 0 | 0.0 |
| 2. 101～300人 | 11 | 12.9 |
| 3. 301～500人 | 12 | 14.1 |
| 4. 501～1,000人 | 25 | 29.4 |
| 5. 1,001～3,000人 | 18 | 21.2 |
| 6. 3,001～5,000人 | 7 | 8.2 |
| 7. 5,001～10,000人 | 3 | 3.5 |
| 8. 10,001人以上 | 4 | 4.7 |
| 9. その他（ ） | 1 | 1.2 |
| 無回答 | 4 | 4.7 |
| 合計 | 85 | |

II. メンタルヘルスに関する事柄について

問 9. メンタルヘルスクエアを行う体制がありますか

| | | |
|-------|----|------|
| 1. ある | 49 | 57.6 |
| 2. ない | 32 | 37.6 |
| 無回答 | 4 | 4.7 |
| 合計 | 85 | |

問10. メンタルヘルスに対応するスタッフは誰ですか (複数回答)

| | | |
|------------|----|------|
| 1. 産業看護職 | 65 | 76.5 |
| 2. 産業医 | 60 | 70.6 |
| 3. 精神科医 | 27 | 31.8 |
| 4. 心理相談担当者 | 16 | 18.8 |
| 5. その他 () | 13 | 15.3 |
| 無回答 | 6 | 7.1 |
| 合計 | 85 | |

その他の内容

| | |
|--------------|--------|
| 労務担当者 | 管理チーム |
| 臨床心理士 | 衛生管理者 |
| 電話相談 | カウンセラー |
| 人事部門 | EAP機関 |
| 健康相談員上司(管理職) | |

問11. 相談室はありますか

| | | |
|-------------------|----|------|
| 1. 専用の相談室あり | 29 | 34.1 |
| 2. 他の診療室や会議室などを利用 | 39 | 45.9 |
| 3. その他 () | 11 | 12.9 |
| 無回答 | 6 | 7.1 |
| 合計 | 85 | |

その他の内容

| | |
|----------------|--------------------------------|
| 面談コーナー | 診療所 |
| 保健室を使用中として使用可 | 医務室でカーテンによる間仕切 |
| 診察室、あいている部屋の利用 | 医務室 |
| e-mailにて | 親会社の相談室(専門医がいる)を利用することが出来るが... |

問12. メンタルヘルスに関する相談はありましたか

| | | |
|---------|----|------|
| 1. あった | 79 | 92.9 |
| 2. なかった | 3 | 3.5 |
| 無回答 | 3 | 3.5 |
| 合計 | 85 | |

問13. 初めて相談に来た人は誰ですか (複数回答可)

| | | |
|------------|----|------|
| 1. 本人 | 62 | 78.5 |
| 2. 上司 | 53 | 67.1 |
| 3. 家族 | 7 | 8.9 |
| 4. 同僚 | 15 | 19.0 |
| 5. その他 () | 8 | 10.1 |
| 無回答 | 1 | 1.3 |
| 合計 | 79 | |

その他の内容

| | |
|---------|---------------|
| 総務 | 人事担当者 |
| 相談室より紹介 | 社員 |
| 人事部 | 勤務していなかったので不明 |

| 問14. 最初にメンタルな相談を受けた経緯と過去1年間の相談件数を記入してください (※回答数 % 件数 平均) | 回答数 | % | 件数 | 平均 |
|--|-----|------|-----|------|
| 1. 本人から () 件) | 60 | 75.9 | 548 | 9.1 |
| 2. 同僚からの依頼 () 件) | 17 | 21.5 | 27 | 1.6 |
| 3. 上司からの依頼や相談 () 件) | 56 | 70.9 | 209 | 3.7 |
| 4. 家族からの相談 () 件) | 7 | 8.9 | 18 | 2.6 |
| 5. 健康診断の問診から () 件) | 17 | 21.5 | 70 | 4.1 |
| 6. 職場巡視から () 件) | 5 | 6.3 | 9 | 1.8 |
| 7. その他 () () 件) | 11 | 13.9 | 113 | 10.3 |
| 無回答 | 7 | 8.9 | | |
| 合計 | 79 | | 994 | 12.6 |

その他の内容

相談室と分離しているため把握できていない
 人事担当者
 人事
 職業性ストレス簡易調査

休業届等、人事情報
 奥様のメンタル相談
 診察時(不定愁訴が多い)

健康診断時や職場巡視、保健指導の時などにメンタルな相談はあるがメンタルだけというのではない。件数も数えきれない

問15. 貴方が対応するメンタルな相談は月平均何件位ありますか

| | | | |
|----------------|----|------|---------|
| 1. 月1～3件 | 37 | 46.8 | |
| 2. 4～5件 | 4 | 5.1 | |
| 3. 6～9件 | 1 | 1.3 | |
| 4. 10件以上 | 4 | 5.1 | |
| 5 その他 () 件/年) | 32 | 40.5 | (88件/年) |
| 無回答 | 1 | 1.3 | |
| 合計 | 79 | | |

問16. 一人平均の相談時間は、約何分ですか

| | | |
|-----------|----|------|
| 1. 15分 | 11 | 13.9 |
| 2. 30分 | 41 | 51.9 |
| 3. 45分 | 13 | 16.5 |
| 4. 60分 | 8 | 10.1 |
| 5 その他 () | 4 | 5.1 |
| 無回答 | 2 | 2.5 |
| 合計 | 79 | |

その他の内容

ケースバイケース

ケースによって異なる

問17. 相談の内容について (複数回答可)

| | | | |
|--------------------|-----------|-----|------|
| 1. 職場にかかわるもの 71人 | 1. 人間関係 | 57 | 80.3 |
| | 2. 勤務態度 | 16 | 22.5 |
| | 3. 勤務条件 | 23 | 32.4 |
| | 4. その他 | 4 | 5.6 |
| | 無回答 | 1 | 1.4 |
| 2. 本人自身にかかわるもの 75人 | 1. 職場不適合 | 54 | 72.0 |
| | 2. 病気との関連 | 38 | 50.7 |
| | 3. 友人関係 | 8 | 10.7 |
| | 4. その他 | 7 | 9.3 |
| | 無回答 | 3 | 4.0 |
| 3. 家族にかかわるもの 39人 | 1. 夫婦関係 | 20 | 51.3 |
| | 2. 親子関係 | 21 | 53.8 |
| | 3. その他 | 8 | 20.5 |
| | 無回答 | 0 | 0.0 |
| 4. その他 () | 0 | 0.0 | |
| 無回答 | 1 | 1.3 | |
| 合計 | 79 | | |

問18. 相談を受ける時期はいつが多いですか（複数回答可）

| | | |
|------------|----|------|
| 1. 健康診断のとき | 15 | 19.0 |
| 2. 職場巡視のとき | 9 | 11.4 |
| 3. 保健指導のとき | 26 | 32.9 |
| 4. 人事異動のとき | 15 | 19.0 |
| 5. 人生の転機の時 | 14 | 17.7 |
| 6. その他 | 48 | 60.8 |
| 無回答 | 4 | 5.1 |
| 合計 | 79 | |

問19. 受けた相談についてどのように対応しましたか（複数回答可）

| | | |
|-----------------------------|----|------|
| 1. 本人から話を聴いた | 71 | 89.9 |
| 2. 本人と家族と一緒に話を聴いた | 12 | 15.2 |
| 3. 家族から話を聴いた | 12 | 15.2 |
| 4. 看護職の上司へ相談した | 9 | 11.4 |
| 5. 相談者の上司へ相談した | 37 | 46.8 |
| 6. 産業医又は内部の非常勤医師（内科）へ相談 | 53 | 67.1 |
| 7. 内部の非常勤医師（精神科医）へ相談 | 23 | 29.1 |
| 8. かかりつけの外部専門医（心療内科・精神科）へ相談 | 14 | 17.7 |
| 9. 外部の専門医を紹介 | 34 | 43.0 |
| 10. 地域の保健所又は産業保健推進センター等へ相談 | 7 | 8.9 |
| 11. その他（ ） | 5 | 6.3 |
| 無回答 | 1 | 1.3 |
| 合計 | 79 | |

その他の内容

- 病状悪化が大の時、移動に伴う場合は人事へ相談（必ず本人の了解を得る）
- 従業員相談室の紹介など
- 健康管理の係りの人と連携をとる
- 外部のカウンセラー紹介
- ケースによっては人事部長へ相談

問20. メンタルな相談を受けた場合に困ることはありましたか

| | | |
|---------|----|------|
| 1. あった | 59 | 74.7 |
| 2. なかった | 16 | 20.3 |
| 無回答 | 4 | 5.1 |
| 合計 | 79 | |

問21. 問20で「あった」と答えた方について、困ることはどんなことですか（複数回答可）

| | | |
|---------------------------------------|----|------|
| 1. 相談者に対して自分の対応の仕方が不十分と感じること（自分の知識不足） | 43 | 72.9 |
| 2. 場所の問題（相談する部屋など設備面での問題）がある | 11 | 18.6 |
| 3. 看護職の上司の理解不足 | 3 | 5.1 |
| 4. 相談者の上司の理解不足 | 20 | 33.9 |
| 5. 相談する産業医の理解不足 | 10 | 16.9 |
| 6. 連携する医療機関の問題（心療内科、精神科などの専門医がわからない） | 21 | 35.6 |
| 7. その他（ ） | 15 | 25.4 |
| 無回答 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 59 | |

その他の内容

- 問題が解決しないとき
- 本人に受診を勧めても応じてくれない
- 本人が専門のカウンセリングを受けたがらない
- 本人がどうしても会社を休みたくないと訴えて困った
- 同僚からの悩みと本人からの悩みを聞き問題意識の差を感じ板ばさみ状態となり相談者の上司も巻き込む結果となった
- 担当一人、産業医（内科）月2回出務の体制で十分な時間がとれない

専門医と思ひ紹介したのに相談者の意に添わず中断してしまった

精神病的な社員のかかわり

身近にメンタル専門、相談者がいない。臨床心理士は非常勤のため

守秘義務と安全配慮義務のジレンマがあり、どこまで人事・上司に報告すべきかなど(特に本人が話してほしくないときなど)

事業場内の事業内容について理解が十分でないため

私個人の力ではどうしようもない事柄での相談

再発、治療期間の長期化、治療効果が上がらない等

1990年頃からメンタルに問題がある人に対しては職場の考慮がされている。それを利用して異動先に不満がある人の一部には診断書を提出して自分の希望する異動先に行こうとする社員もいます。

問22. 社内でのメンタルヘルス教育について (複数回答可)

| | | | |
|--------------------|--------------|----|------|
| 1. 課長や部長などへのライン教育は | 1. 出来ている | 28 | 32.9 |
| | 2. 出来ていない | 45 | 52.9 |
| | 無回答 | 1 | 1.2 |
| 2. 従業員(社員)への教育は | 1. 出来ている | 15 | 17.6 |
| | 2. 出来ていない | 54 | 63.5 |
| | 無回答 | 1 | 1.2 |
| 3. 職場内の教育は | 1. 定期的に行っている | 9 | 10.6 |
| | 2. 不定期に行っている | 27 | 31.8 |
| | 3. 行ってない | 37 | 43.5 |
| | 無回答 | 0 | 0.0 |
| 4. その他() | | 7 | 8.2 |
| 無回答 | | 6 | 7.1 |
| 合計 | | 85 | |

その他の内容

心理面に取り込むための環境ができない。(部屋、スタッフ教育等)

社外資源を利用、社外資源のセミナーに参加できるよう後納とし、掲示板(電子)に記載しています。

私が直接関係していないのでわかりません

産業医の方針として「メンタルヘルス」と掲げると社員が近付いてきにくい為、「疲労管理」や「VDT作業指導」など間接的アプローチをしている。

今年衛生講演会でメンタルヘルスのテーマについて実施できた。(労働衛生週間中に)

講演、社内報

看護婦は時々、勉強会に出席している。年2回程度

問23. メンタルヘルス教育を担当しているのはだれですか (複数回答可)

| | | |
|---------------------|----|------|
| 1. 産業看護職 | 34 | 40.0 |
| 2. 産業医 | 39 | 45.9 |
| 3. 衛生管理者 | 6 | 7.1 |
| 4. 社外講師(医療職)に依頼している | 26 | 30.6 |
| 5. その他() | 16 | 18.8 |
| 無回答 | 16 | 18.8 |
| 合計 | 85 | |

その他の内容

臨床心理士

精神科医

弊社健康管理センターの専門医等に依頼
担当

人事担当者

心理療法家等

精神衛生専門の産業医

カウンセラー

実施していない

教育担当なし

教育についてはだれも担当していない

従業員相談室、人事安衛担当者、健康づくり部会の人達も

問24. メンタルヘルスについて学びたいことは何ですか（3つ選んで下さい）

| | | |
|-----------------------|----|------|
| 1. カウンセリングの技法 | 48 | 56.5 |
| 2. 管理監督者への教育方法 | 28 | 32.9 |
| 3. 従業員への教育方法 | 33 | 38.8 |
| 4. 事例検討 | 24 | 28.2 |
| 5. 社会資源の活用方法 | 17 | 20.0 |
| 6. リラクゼーションの種類とその実施方法 | 14 | 16.5 |
| 7. ストレスマネジメントの方法 | 15 | 17.6 |
| 8. ストレスコーピングの方法 | 6 | 7.1 |
| 9. 面接の記録と保管方法 | 20 | 23.5 |
| 10. メンタルヘルス教育 | 20 | 23.5 |
| 11. その他 | 3 | 3.5 |
| 無回答 | 4 | 4.7 |
| 合計 | 85 | |

問25. 職業性ストレス簡易調査票（中央労働災害防止協会）を用いて調査を実施したことがありますか

| | | |
|-----------------|----|------|
| 1. ある | 9 | 10.6 |
| 2. ない | 66 | 77.6 |
| 3. 個々に使うよう勧めている | 4 | 4.7 |
| 無回答 | 6 | 7.1 |
| 合計 | 85 | |

Ⅲ. その他メンタルヘルスのことについてご意見があれば自由にご記入下さい。

- 非常勤ではあるが、産業医が精神科医の為、対応が早期にできていると思う。看護婦である私は、社員、社員の上司、人事、産業医のパイプ役となり、守秘義務を守りながらの調整を行っている。休職者の復帰時が最も気をつかい大切などところだと実務の中で感じている。
- 大掛かりなメンタルヘルス教育（費用のかかる）ではなくできる教育方法を教えていただきたい。
社風にも問題あるが、電話相談会社に委託したり産業医を置くことのみで満足しているところがある。調査を申し出ても社員全員に還元できなければ（目に見える仕事をする）いけないといわれ、調査すらできない状況でもある。医務室の設置場所の変更等申し出たが聞いてもらえず、産業看護職の仕事すら十分理解を得られないのでメンタルにおいても来る人の相談にしかのらないといった受身の相談業務を行っているのが現状です。社内教育の必要性等もっと社会の声が高くなければ実現できないのが現状だと思います
私がかきた頃にうつ病と思われる人がいて、前任の人が心療内科を紹介されて、薬を飲みながら勤務されていたが、その人がやめてから相談などない。もしそういう人が来たら私に対応しなければいけないので少し不安である。研修会などに参加して受容する態度をとることや、相手の言うことをくり返して確認してくなど（傾聴すること）学んでいるが、経験がないので事例研究などの勉強会があれば具体的にこういう例にはこんな風に対応した方がよいなどの勉強をしたいと思っています。
- 産業保健を理解（働く人を理解）している専門医のリストが欲しい
- 個別相談に当たってその後の計画等についての相談者がいないことが不安をまねいて遅々としてすすまないこと
- 興味もあるしとても大切なことだとは思いますが社内ですらにはプライバシーの問題や個人的感情その他のことも関係してくるので大変むづかしい。そしてそれ以上に自分の学習不足や人間的な器の大きさなどもたりないのではないかと思います。
- 我が社はこれから進めていくところです。
- メンタルヘルスに関しての相談はとても重要です。個別の面接、カウンセリングには、かなり時間を要します。当社の現体制では充分に取り組めない状況です。
メンタルヘルスと言ってもなかなか難しいことと思います。異動時に問題がおきたからといって以前の職場に戻ることによって解決できるかと言ったらそうではないこともあるから……。つまり、メンタルの問題とばかり思っていたことも単にそれがきっかけになつての病気であったりその人の性格であったり、適格に判断することが難しいし、産業医の中でも専門にしている人がほとんどでないので適切な指導はできていない現状と思う
- ストレスの溜まる現状では、メンタルヘルスは重要課題だと思う。一応心理相談員として登録し、研修を受けてはいますが、只今は、相談室に来られる人はよろしいのですが、気づきが出来ていない。何か良い方法はありますでしょうか？
- カウンセリング技法として「短期解決型」のアプローチ法を学びたいのですが、あまりみかけないので、困っています。今後の研修等に加えていただくと幸いです。
- いろいろな研修へ参加し、学習したいです。
1度管理監督者向けに産業保健推進センターの相談員に教育をして頂いた。メンタルヘルスに対処していく為のスタッフ、体制・組織、システムのどれをとっても未整備であり、今後も産業保健推進センターからのご指導とご支援を仰ぎ継続して体制づくりを推進していきたい。
・当社では各職場においてミーティング時に「コミュニケーションタイム」を実施するよう決めている。職業性ストレス簡易調査票を今後活用することとしたい

以上、ご協力有り難うございました

問24. メンタルヘルスについて学びたいことは何ですか（3つ選んで下さい）

| | | |
|-----------------------|----|------|
| 1. カウンセリングの技法 | 48 | 56.5 |
| 2. 管理監督者への教育方法 | 28 | 32.9 |
| 3. 従業員への教育方法 | 33 | 38.8 |
| 4. 事例検討 | 24 | 28.2 |
| 5. 社会資源の活用方法 | 17 | 20.0 |
| 6. リラクゼーションの種類とその実施方法 | 14 | 16.5 |
| 7. ストレスマネジメントの方法 | 15 | 17.6 |
| 8. ストレスコーピングの方法 | 6 | 7.1 |
| 9. 面接の記録と保管方法 | 20 | 23.5 |
| 10. メンタルヘルス教育 | 20 | 23.5 |
| 11. その他 | 3 | 3.5 |
| 無回答 | 4 | 4.7 |
| 合計 | 85 | |

問25. 職業性ストレス簡易調査票（中央労働災害防止協会）を用いて調査を実施したことがありますか

| | | |
|-----------------|----|------|
| 1. ある | 9 | 10.6 |
| 2. ない | 66 | 77.6 |
| 3. 個々に使うよう勧めている | 4 | 4.7 |
| 無回答 | 6 | 7.1 |
| 合計 | 85 | |

Ⅲ. その他メンタルヘルスのことについてご意見があれば自由にご記入下さい。

- 非常勤ではあるが、産業医が精神科医の為、対応が早期にできていると思う。看護婦である私は、社員、社員の上司、人事、産業医のパイプ役となり、守秘義務を守りながらの調整を行っている。休職者の復帰時が最も気をつかい大切なところだと実務の中で感じている。

- 大掛かりなメンタルヘルス教育（費用のかかる）ではなくできる教育方法を教えていただきたい。

社風にも問題あるが、電話相談会社に委託したり産業医を置くことのみで満足しているところがある。調査を申し出ても社員全員に還元できなければ（目に見える仕事をする）いけないといわれ、調査すらできない状況でもある。医務室の設置場所の変更等申し出たが聞いてもらえず、産業看護職の仕事すら十分理解を得られないのでメンタルにおいても来る人の相談にしかのらないといった受身の相談業務を行っているのが現状です。社内教育の必要性等もって社会の声が高くなければ実現できないのが現状だと思います

- 私がきた頃にうつ病と思われる人がいて、前任の人が心療内科を紹介されて、薬を飲みながら勤務されていたが、その人がやめてから相談などない。もしそういう人が来たら私が対応しなければいけないので少し不安である。研修会などに参加して受容する態度をとることや、相手の言うことをくり返して確認してきくなど（傾聴すること）学んでいるが、経験がないので事例研究などの勉強会があれば具体的にこういう例にはこんな風に対応した方がよいなどの勉強をしたいと思っています。

- 産業保健を理解（働く人を理解）している専門医のリストが欲しい

- 個別相談に当たってその後の計画等についての相談者がいないことが不安をまねいて遅々としてすすまないこと

- 興味もあるしとても大切なことだとは思いますが社内ですらにはプライバシーの問題や個人的感情その他のことも関係してくるので大変むづかしい。そしてそれ以上に自分の学習不足や人間的な器の大きさなどもたりないのではないかと思う。

- 我が社はこれから進めていくところです。

- メンタルヘルスに関しての相談はとても重要です。個別の面接、カウンセリングには、かなり時間を要します。当社の現体制では充分に取り組めない状況です。

- メンタルヘルスと一言でいってもなかなか難しいことと思います。異動時に問題がおきたからといって以前の職場に戻ることで解決できるかと言ったらそうではないこともあるから…。つまり、メンタルの問題とばかり思っていたことも単にそれがきっかけになっての病気あったりその人の性格であったり、適格に判断することが難しいし、産業医の中でも専門にしている人がほとんどでないので適切な指導はできていない現状と思う

- ストレスの溜まる現状では、メンタルヘルスは重要課題だと思う。一応心理相談員として登録し、研修を受けてはいますが、只今は、相談室に来られる人はよろしいのですが、気づきが来ていない。何か良い方法はありますか？

- カウンセリング技法として「短期解決型」のアプローチ法を学びたいのですが、あまりみかけないので、困っています。今後の研修等に加えていただけると幸いです。

- いろいろな研修へ参加し、学習したいです。

1度管理監督者向けに産業保健推進センターの相談員に教育をして頂いた。メンタルヘルスに対処していく為のスタッフ、体制・組織、システムのどれをとっても未整備であり、今後も産業保健推進センターからのご指導とご支援を仰ぎ継続して体制づくりを推進していきたい。

・当社では各職場においてミーティング時に「コミュニケーションタイム」を実施するよう決めている・職業性ストレス簡易調査票を今後活用することとしたい

以上、ご協力有り難うございました

6. アンケート調査票

産業看護活動について（メンタルヘルス関連／実態調査）

大阪産業保健推進センター

次の質問のうち当てはまる番号に○印を付けてください。また該当事項をご記入ください。

I. 貴方の資格・雇用形態についてお尋ねします

問 1. 貴方の年齢は (_____ 才代)

問 2. 産業看護職としての経験は (_____ 年)

問 3. 勤務している看護の資格は (1. 保健婦 2. 看護婦 3. 准看護婦)

問 4. 看護免許以外で持っている資格は（複数回答可）

1. 衛生管理者 2. 心理相談担当者 3. 産業保健指導担当者 4. その他 (_____)

問 5. 貴方の雇用形態は (1. 正社員 2. 常勤嘱託 3. 非常勤嘱託 4. その他)

問 6. 貴方はどこで雇用されていますか

1. 一般企業 2. 健康保険組合（単一） 3. 健康保険組合（総合） 4. 官公庁
5. 労働衛生機関 6. その他 (_____)

問 7. 貴方の所属は（貴方がデスクワークを行うところ）どこですか

1. 健康管理センター 2. 健康管理（相談）・保健指導室 3. 診療所・医務室
4. 総務部（課）・人事部（課） 5. 病院所属（併設）健康管理部門 6. その他

問 8. 貴方が対象としている人数は何人ですか

1. 100人未満 2. 101～300人 3. 301～500人 4. 501～1,000人 5. 1,001～3,000人
6. 3,001～5,000人 7. 5,001～10,000人 8. 10,001人以上 9. その他 (_____)

II. メンタルヘルスに関する事柄について

問 9. メンタルヘルスケアを行う体制がありますか (1. ある 2. ない)

問10. メンタルヘルスに対応するスタッフは誰ですか（複数回答）

1. 産業看護職 2. 産業医 3. 精神科医 4. 心理相談担当者 5. その他 (_____)

問11. 相談室はありますか

1. 専用の相談室あり 2. 他の診療室や会議室などを利用 3. その他 (_____)

問12. メンタルヘルスに関する相談はありましたか (1. あった 2. なかった)

問13. 初めて相談に来た人は誰ですか（複数回答可）

1. 本人 2. 上司 3. 家族 4. 同僚 5. その他 (_____)

問14. 最初にメンタルな相談を受けた経緯と過去1年間の相談件数を記入してください（複数回答可）

1. 本人から (件)
2. 同僚からの依頼 (件)
3. 上司からの依頼や相談 (件)
4. 家族からの相談 (件)
5. 健康診断の問診から (件)
6. 職場巡視から (件)
7. その他 () (件)

問15. 貴方が対応するメンタルな相談は月平均何件位ありますか

1. 月1～3件
2. 4～5件
3. 6～9件
4. 10件以上
5. その他 (件/年)

問16. 一人平均の相談時間は、約何分ですか

1. 15分
2. 30分
3. 45分
4. 60分
5. その他 ()

問17. 相談の内容について（複数回答可）

1. 職場にかかわるもの (1. 人間関係 2. 勤務態度 3. 勤務条件 4. その他)
2. 本人自身にかかわるもの (1. 職場不適応 2. 病気との関連 3. 友人関係 4. その他)
3. 家族にかかわるもの (1. 夫婦関係 2. 親子関係 3. その他)
4. その他 ()

問18. 相談を受ける時期はいつが多いですか（複数回答可）

1. 健康診断のとき
2. 職場巡視のとき
3. 保健指導のとき
4. 人事異動のとき
5. 人生の転機の時
6. その他

問19. 受けた相談についてどのように対応しましたか（複数回答可）

1. 本人から話を聴いた
2. 本人と家族と一緒に話を聴いた
3. 家族から話を聴いた
4. 看護職の上司へ相談した
5. 相談者の上司へ相談した
6. 産業医又は内部の非常勤医師（内科）へ相談
7. 内部の非常勤医師（精神科医）へ相談
8. かかりつけの外部専門医（心療内科・精神科）へ相談
9. 外部の専門医を紹介
10. 地域の保健所又は産業保健推進センター等へ相談
11. その他 ()

問20. メンタルな相談を受けた場合に困ることはありましたか (1. あった 2. なかった)

